

令和8年6月 岡崎市文化財保護審議会会議録

開催日時：令和8年6月26日（金） 午前10時～午前11時45分

開催場所：岡崎市役所東庁舎7階 701号室

出席委員：10名

杉野丞委員（会長）・荒井信貴委員（会長職務代理者）・内田尚之委員、奥田敏春委員・小早川道子委員・杉坂美典委員・鷹巣純委員・堀江登志実委員・山田伸子委員・渡邊幹男委員

欠席委員：なし

説明のために出席した事務局職員：9名

松澤真由美教育部長

社会教育課：柴田英代課長・浦上大助副課長・小幡早苗文化財係長・浦野加穂子主査・久野千秋主査・平山優主査

公園緑地課（担当課）：本多徳行専門監・津呂幸治計画整備係長

傍聴者：なし

議事内容

1 諮問事項

- (1) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（試掘調査）について【公開】
- (2) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（崩落危険石垣への対応）について【公開】

2 報告事項

- (1) 令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について【公開】
- (2) 指定文化財の解除に関わる状況について【非公開】

3 その他

次回の審議会開催について

議題及び議事の要旨

1 諮問事項

- (1) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（試掘調査）について【公開】

【事務局説明】

本案件については、岡崎市教育委員会から申請書を提出したものとなり、岡崎城跡内での植樹が検討されている場所について今後の取り扱いを検討する中で、遺構面の有無や高さを事前に把握しておく必要があるため、試掘調査を実施するものとなる。試掘予定地は、二の丸南側の植栽エリアに3箇所、隠居曲輪の庭園エリアに1箇所、北側の斜面地に3箇所の合計7箇所を計画している。現状変更等による影響については、試掘調査となるため、その土地に埋蔵文化財が存在するかを事前に確認するための調査であり、不要な掘削を避け、遺構が確認される場合にはその時点で掘削をやめ、遺構を傷つけることはない。試掘の施工期間は、今年度の8月～9月を予定している。本案件は、令和8年5月14日の岡崎城跡整備委員会に諮り、審議している。

【担当課説明】

本年度のサクラの植栽計画について、令和6年度から3か年目の令和8年度は、隠居曲輪に9本、菅生曲輪に23本の計32本の植栽を予定している。あくまで予定のため、遺構調査の結果に基づき検討していく。樹種については、基本はエドヒガンザクラだが、今回クマノ

ザクラも植樹できないか検討している。

【質疑応答】

委員：このところ桜の植樹を伴う試掘が多いが、本来は社会教育課による現状把握が大切。そうすれば簡易な試掘で済むので、臨機応変な対応が可能。調査区は東へ延ばしてもよく、T-7はもっと広くてもよい。隠居曲輪もどのように解明するか。桜の後追いではなく、史跡としての岡崎城の解明を念願に置きながら進めてほしい。

事務局：現場作業上可能な範囲で対応を検討していきたい。

委員：史跡の解明に主眼を置いて取り組んでほしい。

委員：平成12年の6000㎡の菅生曲輪の発掘エリアに入るのか。未発掘なら手を入れる必要がある。また、イチョウ並木は伐採するのか。

事務局：発掘済みのエリアには入っていない。遺構面の高さから考えて今回の植樹による影響を受けることはない。

担当課：イチョウ並木はそのまま残す。

委員：隠居曲輪で土塁の断ち割りはしないとのことだが、土塁の場所はどこか。

事務局：図1右の絵図の隠居曲輪の北側の二の丸に続く斜面の部分。

委員：クマノザクラを植樹する理由は。

担当課：岡崎城跡整備委員会でエドヒガンザクラだけでなく、多彩な桜を植えたかどうかという意見があった。クマノザクラは最近発見されたが、もとは古来種。公園の桜に多様性を持たせたいため。

委員：クマノザクラは早咲きが特徴だが、遺伝子が多様で実態がわからないため、植樹は避けた方がよい。種類を増やしたいのであれば、他の種を検討した方がよい。

担当課：他に植樹する種を提案してほしい。

委員：ヤマザクラが良い。なぜなら、古来種であり、入手しやすく、岡崎市では2本が指定になっている。法蔵寺のサクラは家康御手植えの伝承があり、県指定の下山小学校のヤマザクラは世界で一番古く、その子孫を植樹して増やしていくのが良い。市としても理由を述べるができるため、検討してほしい。

担当課：市制110周年でりぶらの周辺に植えた家康桜もヤマザクラである。検討していきたい。

委員：図に埋没管想定位置を記した理由は。ここを避けてトレンチを入れているということか。

事務局：斜面に対し直行方向に向いていない理由を示すため。埋没管を避けてトレンチを入れている。

諮問結果：可とする。意見を踏まえて事業を進めてほしい。

(2) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（崩落危険石垣への対応）について【公開】

【事務局説明】

本案件についても岡崎市教育委員会から申請書を提出したものとなる。岡崎城跡内の石垣について、岡崎城跡整備委員会委員より崩落の危険が指摘され、当該地が園路でもあることから、その対策に伴う現状変更を申請したものとなる。対象となる石垣は、本丸埋門の南側にある石垣。石垣を積み直すには費用が高額になりすぎることから、石垣の保護をする樹脂製のネットを設置する。保護ネットの設置にあたり、アンカーの設置を行う必要があるが、遺構への影響を最小限にする。本案件は、令和8年5月14日の岡崎城跡整備委員会に諮り、

審議している。

【質疑応答】

委員：本丸石垣に2mという深いアンカーを8本設置するが遺構への影響は大丈夫か。

事務局：石垣上の遺跡面が確認できていないため回答が難しいが、来城者の安全を第一に考えて設置したい。

委員：アンカーを打つ場所と方向は。

事務局：石垣保護ネット展開図に記載されている8箇所。打つ方向は、垂直だと引っ張り抵抗が弱いので、ネットに対して下方はネット側に、上方は離れるように打ち込む。

委員：横は石垣があるが、どのように打つのか。

事務局：築石や裏込栗石も含め、石垣に影響がないようにする。

委員：ネットの強度は。

事務局：製品の設計基準値は、ネットは3t以上に耐えられる強度である。

委員：写真をAIで加工して、ネットを張った状態を例示した資料を今後は添付してはどうか。

委員：石垣の上の土の斜面部にアンカーを打ち込むという理解で良いか。

事務局：そのとおりである。

諮問結果：可とする。意見を踏まえて事業を進めてほしい。

2 報告事項

(1) 令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について【公開】

【事務局説明】

資料に基づき、令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について説明した。

【質疑応答】

委員：旧額田郡公会堂・物産陳列所は、郷土館が閉鎖され20年近い。少しでも早く修理を進め、再開してほしい。また旧郷土館では志賀重昂の資料や矢作川河床遺跡の墨書土器等が展示されていたが、来年は志賀重昂没後100年、市として展示等の取り組みを検討してほしい。また、旧本多忠次邸は展示委員会が無くなったが、先日訪れた際に見学者が少なく、もっと有効活用できるのではないかと。

事務局：旧額田郡公会堂・物産陳列所については、市内部で協議を進めて、保存修理等を進めていきたい。旧本多忠次邸については今年度に展示室貸出の周知を進め、来館者に建物の価値を理解してもらい、来館者を増やしていきたい。旧郷土館の資料は現在美術博物館に収蔵されており、美術博物館の展覧会で活用していく。

委員：看守人室の保存修理については報告書を作成するのか。報告書が市指定、国登録等上位指定の布石になるのではないかと。また、この件について審議会で報告が無かったので、今後は情報を共有してほしい。

事務局：報告書の刊行までは検討していないが、修理報告というかたちでまとめていきたい。

委員：刊行までしなくても何かしらの修理報告はしてほしい。内部のどこを修理したか、材の取り替えがどれだけあるのか等、保存修理の方向性も含め情報をまとめて報告してほしい。

委員：看守人室の取り扱いを確認してほしい。今回の事業に関しても記録を残すことが望まれる。現時点での資料を整理してほしい。

委員：志賀重昂については根石学区が動いている。再来年は石田茂作没後50年でもあり、

社会教育課で何か顕彰に関わる事業計画を何か考えているか。

事務局：市の顕彰に関わる事業については、社会教育課の所管の施設で展示をする場がなかなかないが、他部局と連携しながら展示できるか働きかけたい。

委員：石田茂作の遺品整理が進んでおり、美術博物館等と情報交換しながら進めてほしい。

委員：石田茂作の孫が遺品を月一で整理している。市と連携し、いい方向に進めていけるよう手伝いができたらと思う。

委員：社会教育課と美術博物館で横の繋がりを密にし、お互いに情報交換しながら共有してほしい。

委員：岡崎城下町遺跡について、純粋な城下町概念に入らないのでは。1640年の水野以降に侍町と町家が峻別される。それを一つの基準とすれば、侍町など別の使い方をすべきではないか。一般的な歴史学上の城下町と言えば侍町に付いている純粋な町人町を言っている。

委員：当該場所を15世紀からの長い過程でどう市町として成ったか岡崎城下を考えると、戦国城下という言葉もあり、広い意味で城下として入れている。身分が分化していない時代には区別できない。それが現在の研究対象になっている。

委員：そういう用語の使い方も含めて検討してほしい。

委員：日本多忠次邸はサンルームでお茶が飲めたが、給湯器が壊れてから現状は。また、旧額田郡公会堂の活用方法について、奈良監獄をホテルにしようという時代の流れの中で、市民がどう使えるかももう少し柔軟にソフトの利用面も重視して保存活用計画報告書の見直しを検討してほしい。

事務局：給湯器は今は使用していない。

委員：他市では年度報告に予算決算額が付いており、予算額が妥当かどうか議題に上がる。今後提示することはできないか。

事務局：事前に予算額が妥当かどうか諮ることはなかなか難しいが、予算決算額の内容については次回から提示していきたい。

委員：他市では入場者数の年度比較表や補助金などの資料もある。岡崎市は文化財が多いので可能な範囲で資料を作成してはどうか。

委員：年度初めの委員会では、職員の担当一覧表を付けてほしい。

(2) 指定文化財の解除に関わる状況について【非公開】

3 その他

次回の審議会開催について

令和8年10月に開催予定